

# BUSINESS REPORT

# へんしもの

第39期 第2四半期 [平成21年4月1日～平成21年9月30日]



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402

代表取締役会長  
山本 吾一代表取締役社長  
山口 隆士

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 財務ハイライト
- 3 財務諸表
- 5 事業概要
- 7 製品・トピックス
- 10 会社情報・株式情報

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第39期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

当期は、中期経営計画「リメイク3」の最終年度であり、経営課題である「主力商品のレベルアップ」「循環型社会に対応した製品の開発」「コストダウン」「人材の育成」に取り組んでおります。

しかしながら当第2四半期は、経済の急激な悪化を背景とした製品需要の減少を主因に減収となり、利益を計上することができませんでした。

この間、役員退職慰労金制度を廃止し、経営効率の向上を目的に執行役員制度を導入すると共に、コーポレートガバナンスの一層の強化を図るため、新たな機関として会計監査人を設置いたしました。

当社は、今後ともユーザーニーズへのきめ細かな対応、主力製品等の販売促進活動の展開、新製品販売への注力などを行うと共に、一層のコスト削減に取り組み、経営体質の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月



表紙に掲載しているジオラマは、当社社員が実際の製造現場の作業風景を1/35の縮尺で再現したオリジナル作品です。

## [営業の概況等]

当第2四半期における我が国経済は、まだまだ景気の先行きが見えない状況で推移しております。

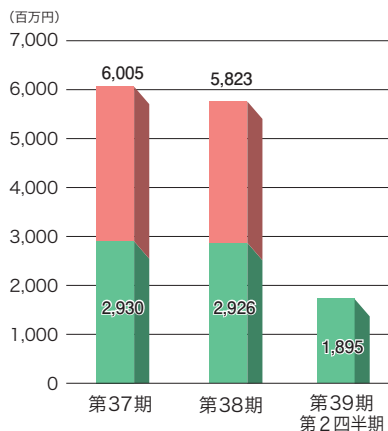
当社では、営業本部が主力製品を主体に、技術本部が特殊製品や海外案件を担当し、業績の確保に向けた受注活動を展開してまいりました。

当第2四半期の業績は、主力製品である強力吸引作業車・高圧洗浄車では、顧客の仕事量見込みの低迷等から設備投資意欲の回復が見られず、大幅な売上減少となりました。特殊製品では「水循環式排水管清掃車」が官公庁から3台の受注があったものの、海外案件は受注に至っておりません。また、原価低減活動、販売費及び一般

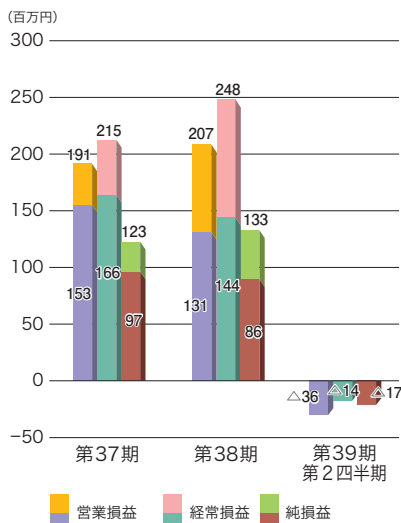
管理費の抑制等を実施いたしました。この結果、受注・売上ともに、前第2四半期に比べて大幅に低下し、損失を計上することとなりました。

業績(数値)につきましては、前第2四半期に比べ受注高は653百万円減の2,233百万円(前年同四半期比22.6%減)、売上高は1,030百万円減の1,895百万円(前年同四半期比35.2%減)となりました。収益面につきましては、営業損失36百万円(前年同四半期は営業利益131百万円)、経常損失14百万円(前年同四半期は経常利益144百万円)、四半期純損失17百万円(前年同四半期は四半期純利益86百万円)を計上することとなりました。

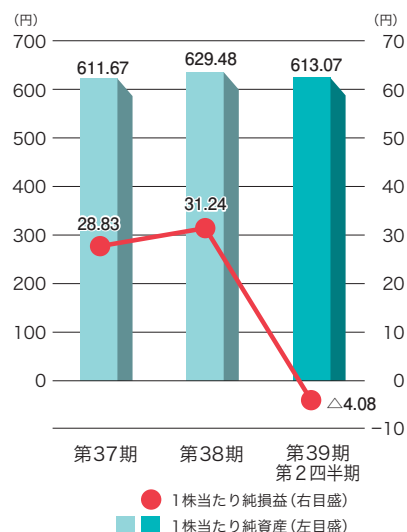
●売上高  
(グラフ下段は第2四半期)



●営業損益・経常損益・純損益  
(グラフ下段は第2四半期)



●1株当たり純損益  
1株当たり純資産



**●貸借対照表**

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (平成21年9月30日)	前 期 末 (平成21年3月31日)	増 減 (△印減)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	2,223,732	2,923,919	△700,186
固定資産	2,149,141	2,178,789	△ 29,648
有形固定資産	1,865,400	1,865,320	79
無形固定資産	8,329	7,648	681
投資その他の資産	275,411	305,820	△30,408
資産合計	4,372,874	5,102,709	△729,834
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	1,368,060	1,958,640	△590,579
固定負債	382,708	451,782	△ 69,074
負債合計	1,750,769	2,410,422	△ 659,653
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	2,625,589	2,694,349	△68,759
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	1,957,319	2,026,079	△68,759
自己株式	△ 1,451	△ 1,451	—
評価・換算差額等	△ 3,484	△ 2,062	△ 1,421
純資産合計	2,622,105	2,692,286	△ 70,181
負債純資産合計	4,372,874	5,102,709	△ 729,834

**資産の部**

総資産は、前期末残高に比べ729百万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産の増加43百万円等はありませんでしたが、売上の減少に伴う売上債権の減少648百万円及び現預金の減少117百万円等によるものであります。

**負債の部**

負債は、前期末残高に比べ659百万円減少し、1,750百万円となりました。これは主に仕入債務の減少395百万円及び未払法人税等の減少95百万円等によるものであります。

**純資産の部**

純資産は、前期末残高に比べ70百万円減少し、2,622百万円となりました。これは主に剰余金の配当51百万円及び四半期純損失の計上17百万円等によるものであります。

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**● 損益計算書**

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	増 減 (△印減)
<b>売上高</b>	<b>1,895,673</b>	<b>2,926,082</b>	<b>△ 1,030,408</b>
売上原価	1,503,709	2,255,420	△ 751,711
割賦販売未実現利益戻入額	2,953	3,707	△ 753
売上総利益	394,918	674,369	△ 279,450
販売費及び一般管理費	431,096	543,142	△ 112,046
<b>営業損益</b>	<b>△ 36,178</b>	<b>131,226</b>	<b>△ 167,404</b>
営業外収益	22,832	14,762	8,070
営業外費用	1,117	1,466	△ 349
<b>経常損益</b>	<b>△ 14,462</b>	<b>144,522</b>	<b>△ 158,984</b>
特別利益	5,832	4,236	1,596
特別損失	7,254	5,273	1,981
<b>税引前四半期純損益</b>	<b>△ 15,884</b>	<b>143,485</b>	<b>△ 159,370</b>
法人税、住民税及び事業税	1,857	68,872	△ 67,015
法人税等調整額	△ 306	△ 12,220	11,913
<b>四半期純損益</b>	<b>△ 17,435</b>	<b>86,832</b>	<b>△ 104,268</b>

**売上高**

当社主力製品の強力吸引作業車が前年同四半期比40.8%減の1,207百万円、汚泥吸引作業車が69.6%減の22百万円、高圧洗浄車が35.9%減の213百万円となり、当第2四半期売上高は、1,895百万円となりました。

**四半期純損益**

原価低減活動、販売費及び一般管理費の抑制等を実施いたしました。が、売上の減少により、当第2四半期純損失は前年同四半期比104百万円減の17百万円となりました。

**● キャッシュ・フロー計算書**

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 34,740</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 99,891</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 40,518</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>126</b>
現金及び現金同等物の減少額	<b>△ 175,025</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>389,266</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>214,240</b>

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**● 平成22年3月期の業績予想**

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	修正予想	当初予想 (5/13発表)	増減額 (△印減)	増減率(%)
売上高	<b>5,006</b>	5,600	△594	△10.6
営業利益	<b>56</b>	232	△176	△75.9
経常利益	<b>84</b>	250	△166	△66.4
当期純利益	<b>39</b>	175	△136	△77.7



当社は環境整備機器の製造販売を行っています。中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次のとおりです。

●強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

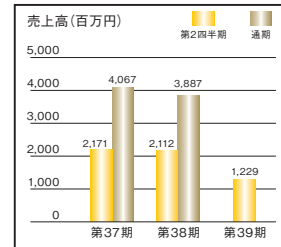


強力吸引作業車 (SM-05SVC)



超強力吸引作業車 (SR-13CWP)

- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



●高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機

高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

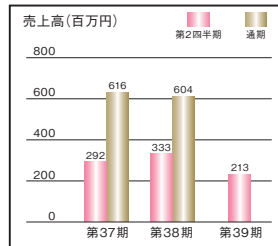


高圧洗浄車(後方リール) (JS-04W2320)

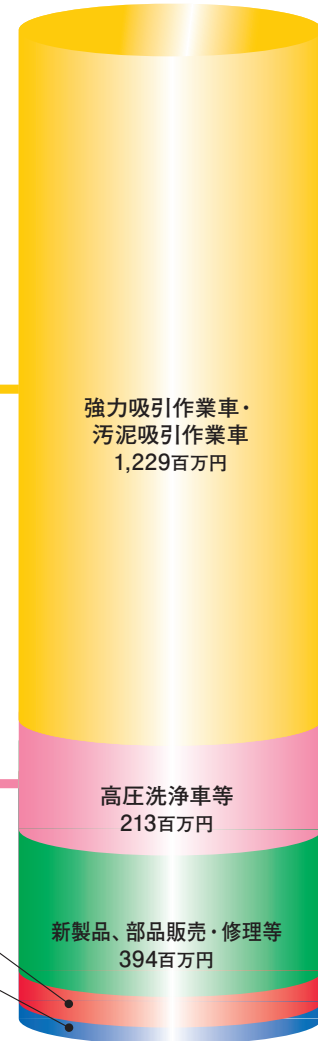


高圧洗浄車 (JS-04S2320A)

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



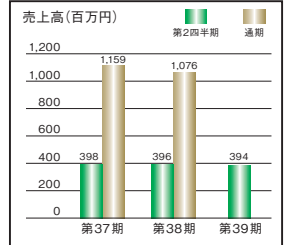
粉粒体吸引・圧送車 37百万円  
定置型吸引機 21百万円



合計1,895百万円

●新製品 ●部品販売・修理等

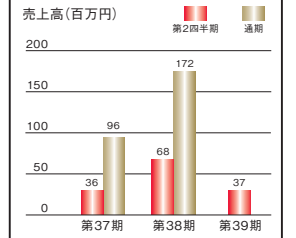
新製品やその他の区分に属さない製品及び部品販売・修理などが含まれています。



●粉粒体吸引・圧送車

吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程輸送を行います。

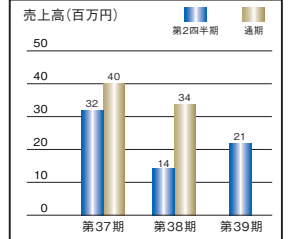
- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
- 焼却灰の回収運搬



●定置型吸引機

当社技術の原点となる製品です。工場環境改善や省力化などに活用されています。

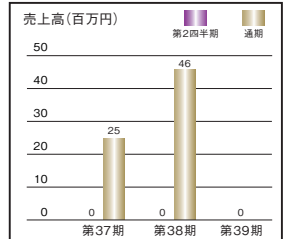
- 塗装ブラストの回収
- 工場内清掃
- フライアッシュの回収



●汚泥脱水機(車) (当第2四半期に売上はありませんでした)

多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱水方式やベルトプレス他、ニーズに合った脱水システムが可能です。

- 建設汚泥の脱水・リサイクル
- 中間処理施設での脱水
- 生コン汚泥の脱水・リサイクル



## 実績が広がってきた「水循環式排水管清掃車」

平成15年度より官公庁と取り組んできた「水循環式排水管清掃車」の実績が徐々に上がってきています。

### <機能と特徴>

1台の車両で3つの機能を備えています。

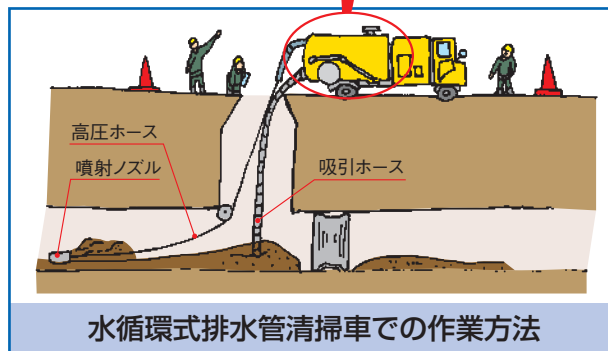
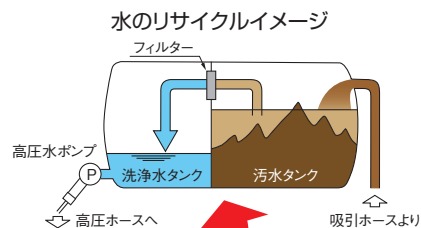
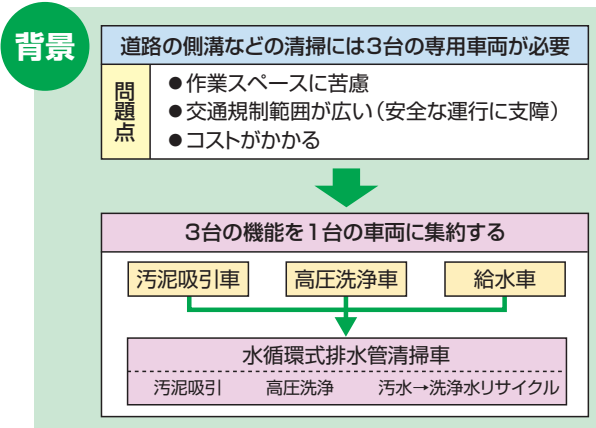
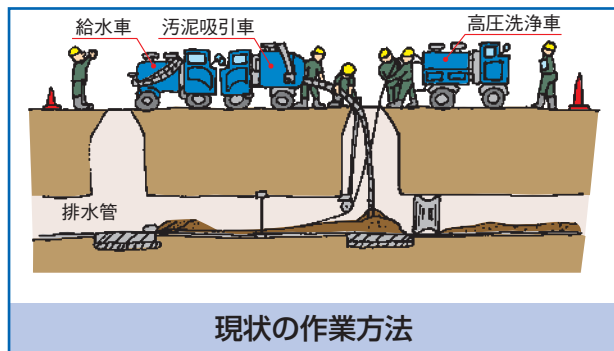
1. 排水管の内部を高圧水で洗浄
2. 洗浄後の汚水・土砂を吸引・回収
3. 回収した汚水等を浄化、高圧洗浄水としてリサイクル

### 特徴

- 車両1台のため、省スペース・省工ネ
- 作業人員が少なく、車両管理費などもコストダウン
- 使用する水量を大幅に削減



### 作業方法の変化



## NEW モービルコンカー

(新型浄化槽汚泥濃縮車)

浄化槽汚泥を濃縮するモービルコンカーをリニューアルしました。これにより処理能力は1.5倍(当社比)、傾斜型仕切り板の採用により操作性の向上を図りました。

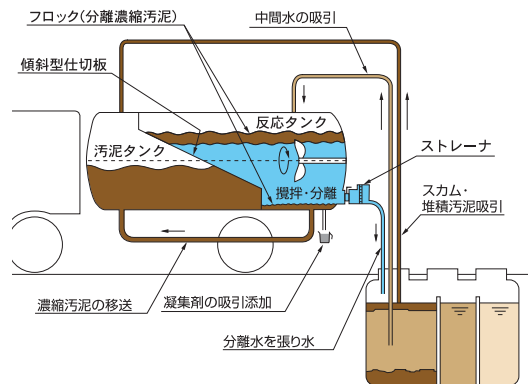
**モービルコンカーとは…**浄化槽汚泥を吸引し、その場で汚泥を濃縮、分離した水は浄化槽の張り水としてリサイクルします。

### リニューアルの特徴

- 浄化槽汚泥を1/2～1/5に濃縮するため処理場の負荷が軽減
- 分離水をリサイクルし、張り水として利用するため、水道水の使用量を大幅に削減
- 汚泥の濃縮でその量が大幅に削減されるため、運搬効率が向上
- 張り水に残存する微生物により、浄化槽機能が早期に回復



MC-03KTPF



## NEW スーパーモービル

(新型低騒音強力吸引作業車)

強力吸引作業車「スーパーモービル」をリニューアルしました。

### リニューアルの特徴

- 低騒音化…消音型ACユニットで排気音を抑え、新しいプロフ冷却方式による作業回転数の低減などで騒音値を3～4dB(当社比)低減
- 積載量のアップ…車両の軽量化をはかり、約200kgの積載量アップ(当社比)を実現
- オートアクセル(オプション※)…吸引作業時以外は自動的にエンジンがアイドル(待機状態)となり、燃料の消費を抑制
- 積載重量の表示(オプション※)…レシーバータンク内の回収物重量を表示し、過積載を防止



SME-04BVP



積載重量表示器(オプション)

※オプションは他の製品にも装着可能です。



## ロードリフレッシャー 1号機納入 (洗浄吸引型路面清掃車)

今年6月、ロードリフレッシャーを製鐵所構内の清掃用に納入しました。

### ロードリフレッシャーとは…

- 「高圧水による洗浄」と「吸引による清掃」の両方で汚れた路面をきれいにおしまします。
- 一度使用した水は、吸引回収され、リサイクル装置により再度、洗浄水に利用します。これで給水の回数を減らせます。
- アタッチメントを交換することにより、一般舗装道路だけではなく、排水性舗装道路にも使用できます。



ロードリフレッシャー (AD-06BJR)



清掃状態

## インドネシアで強力吸引作業車を現地組立・納入

今年6月、当社と販売契約を結んでいるプンダリカ社 (ジャカルタ) に強力吸引作業車を販売し、インドネシア・スラウェシ島のお客様に納入しました。これは完成車の輸出ではなく、当社からは吸引ユニットや部品類を輸出し、プンダリカ社がシャーシの調達と組立作業を行いました。

今後インドネシアにおいては、現地組立というこのスタイルが主流になると考えられます。



操作指導風景



組立中の強力吸引作業車



インドネシア最大の消防展「INDO FIREX」に展示

## ● 会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日  
 資本金 313,700,000円  
 従業員数 158名  
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等  
 環境整備機器の製造販売

## ● 役員

代表取締役会長 山本 吾一  
 代表取締役社長 山口 隆士  
 取締役 山本 琴一  
 常勤監査役 沖田 雅夫  
 社外監査役 西岡啓二郎  
 社外監査役 平井 雄一

## ● 事業所

**本社** 〒781-5101 高知市布師田3981-7  
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211  
**明見工場** 〒783-0007 高知県南国市明見913-11  
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167  
**技術センター** 〒783-0007 高知県南国市明見898-20  
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032  
**東日本支社**  
**東京支店** 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ601号  
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333  
**東北・北海道支店** 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2階  
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995  
**千歳営業所** 〒066-0043 千歳市朝日町8-1206-51 釜田ビル2階  
 TEL (0123) 42-6661 FAX (0123) 42-6650  
**名古屋支店** 〒452-0809 名古屋市西区花原町40  
 TEL (052) 501-3171 FAX (052) 501-3095  
**西日本支社**  
**大阪支店** 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43  
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350  
**中四国支店** 〒739-0026 東広島市三永2-8-16 太田ビル1階  
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133  
**福岡支店** 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6階  
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

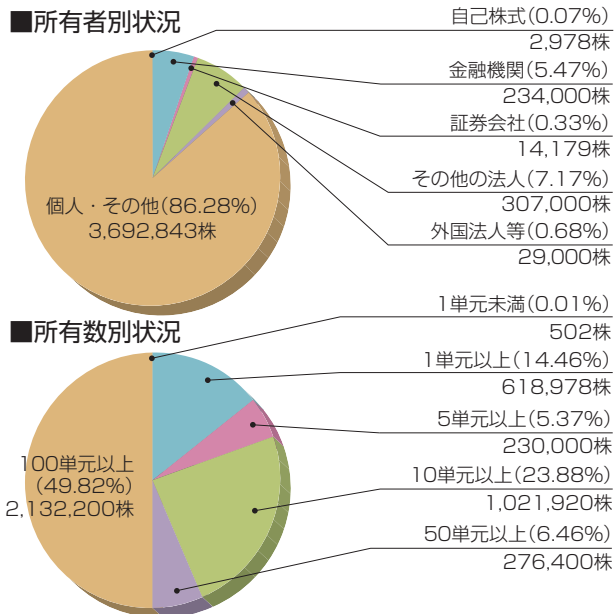
## ● 株式の状況

会社が発行する株式の総数 13,520,000株  
 発行済株式の総数 4,277,022株  
 (自己株式2,978株を除く)  
 株主数 542名

### 大株主

株主名	持株数	議決権比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	500,000株	11.70%
三谷浩溢	327,200株	7.65%
山本琴一	319,000株	7.47%
山口隆士	222,640株	5.20%
株式会社扇港鋼業所	206,000株	4.82%
山本吾一	189,200株	4.42%
柳川裕司	148,200株	3.46%

## ● 株式分布状況



## ●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

### (インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部

 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL:(088)845-5511 FAX:(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

   
古紙配合率100%再生紙  
このビジネスレポートは、環境に配慮し、  
再生紙と大豆油インキを使用しております。